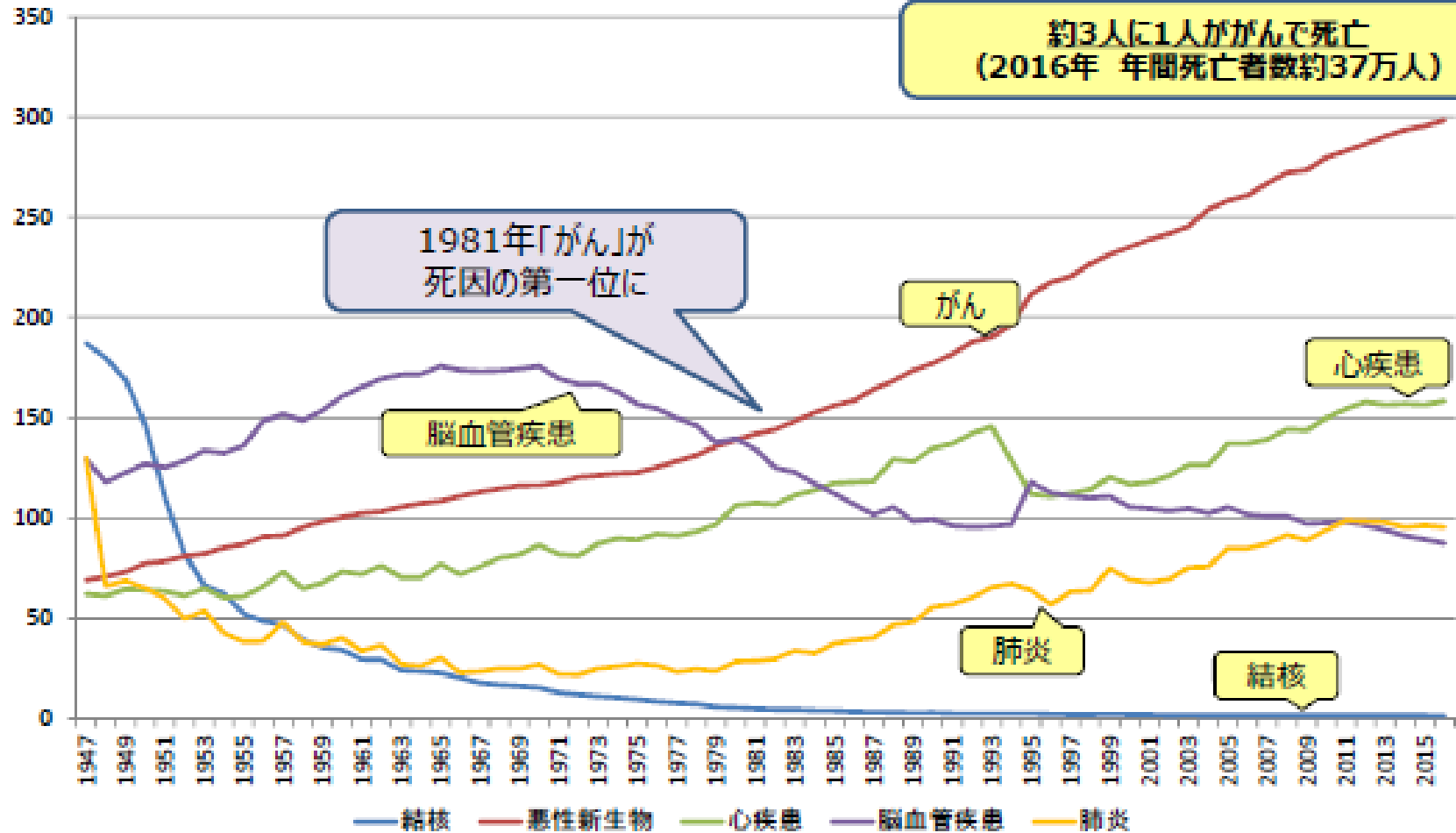


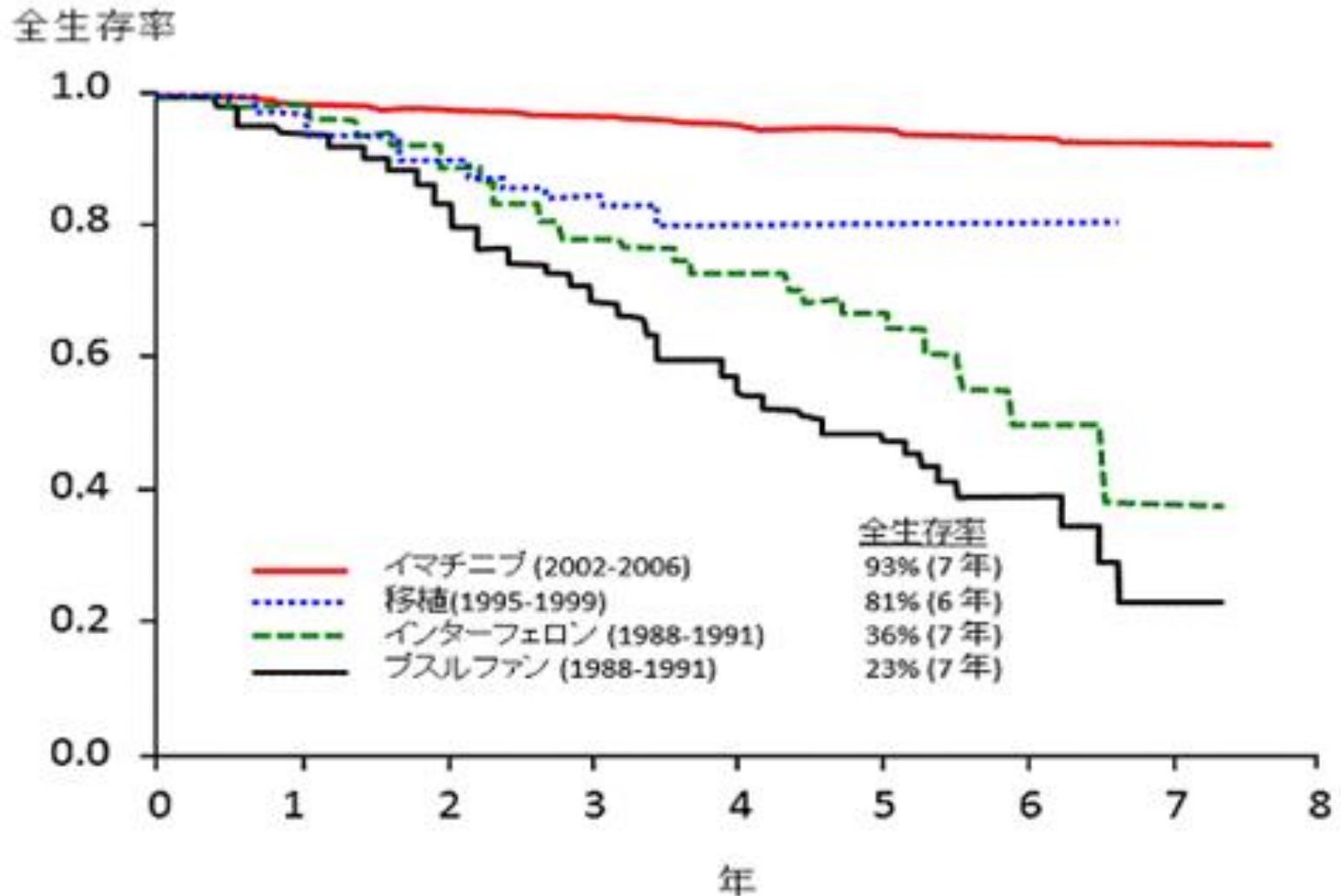
我が国における粗死亡率の推移（主な死因別）

（人口10万対）



出典 平成28（2016）年人口動態統計

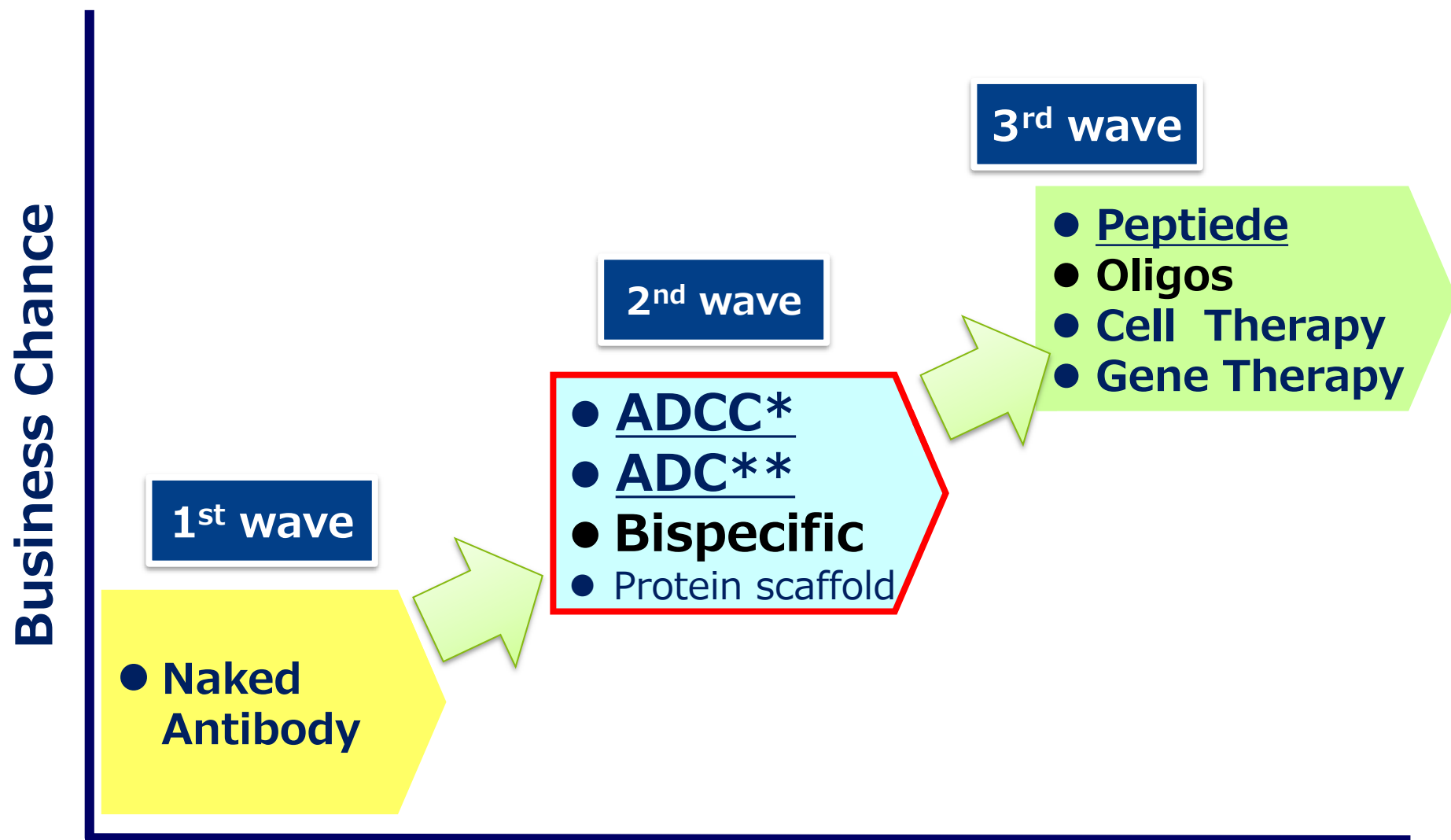
慢性白血病死亡率の改善



*出所：日本成人白血病治療共同研究グループ、「これまでの治療成績」

	化学療法剤（古典的な薬物）	分子標的薬（比較的新しい薬物）
特徴	◆ 増殖の盛んな細胞に対して効果を示す低分子薬剤。 ◆ 全身投与で薬剤ががん細胞にきちんと届けば効果がある。 ◆ 正常細胞にも作用してしまうので、重篤な副作用のため、投薬中止や患者のQOLの著しい低下に結びつく場合も。	◆ 正常細胞とは違ってがん細胞で活発に働いている分子を標的とする薬剤。 ◆ 患者によって働いている分子が異なるため患者選択が重要。 ◆ 従来型の化学療法剤と比較し副作用が少ない。
例	◆ 代謝拮抗剤 ◆ アルキル化剤 ◆ 微小管作用薬 ◆ トポイソメラーゼ阻害剤など	◆ チロシンキナーゼ阻害剤 ◆ 抗体医薬品（含ADC） ◆ 免疫チェックポイント阻害剤（オプジーボ等）





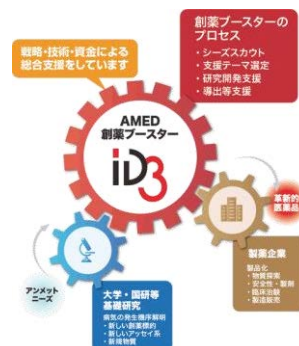
* ADCC: Antibody Dependent Cellular Cytotoxicity
抗体依存性細胞傷害

**ADC: Antibody Drug Conjugate
抗体薬物複合体

Advance of Technology

創薬を取り巻く社外環境の変化

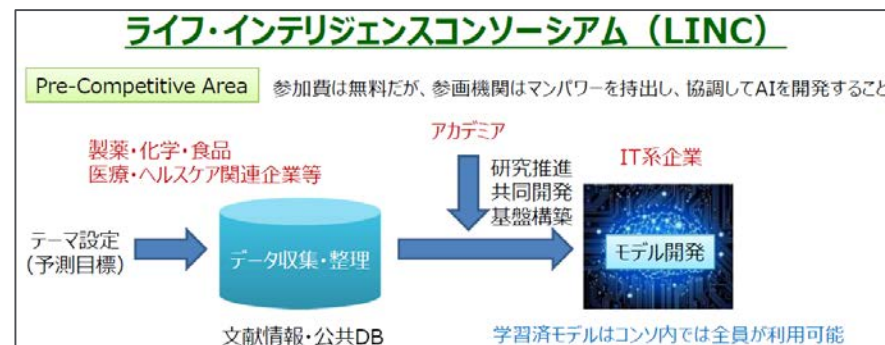
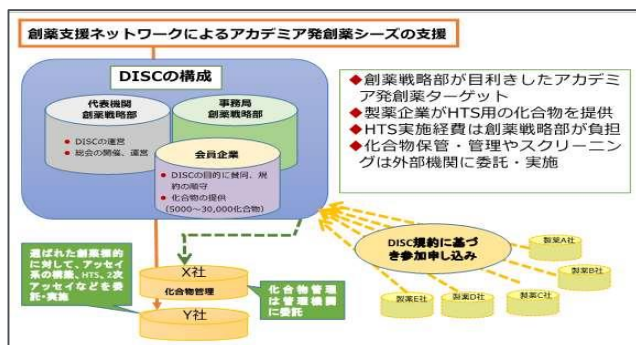
アカデミアの創薬志向の高まり



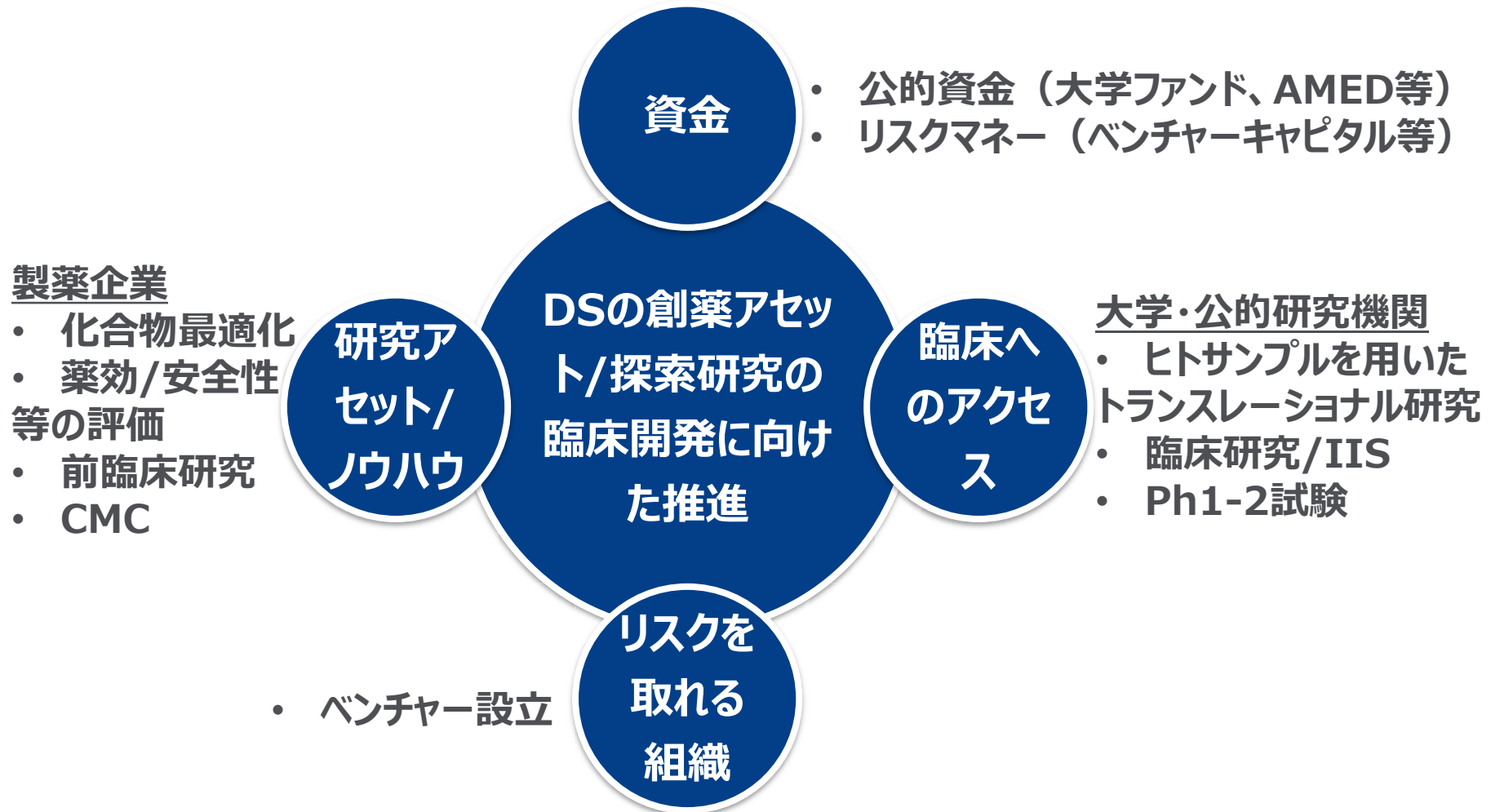
創薬に活用できる公的資金やリスクマネーの増加



Precompetitiveな研究の取り組みが推進



外部資金と産学ネットワークを活用した創薬の取組み



挑戦的なモダリティへの理解と応用の加速策

臨床開発基盤の更なる国際化（たとえば組織サンプルの活用等）

医療データの標準化、データベース化

研究・開発に対するファンディングの多様化、大型化

挑戦に見合う対価（薬価加算）